

TDB TEIKOKU NEWS *daily*

購読料: 1年間68,250円(本体65,000円) 複写転載厳禁 ©2009 TEIKOKU DATABANK,LTD.

page

01

発行所: 株式会社帝国データバンク

(東京支社)

〒160-0003 東京都新宿区本塩町22-8

TEL: 03-5919-9342 (情報部)

FAX: 03-5919-9348

e-mail: tdb_jyoho@mail.tdb.co.jp

(本社)

〒107-8680 東京都港区南青山2-5-20

TEL: 03-5775-3000 (大代表)

URL: http://www.tdb.co.jp/

NO.12678 2009

11/19
thu.

C O N T E N T S

③ - Scope & Focus

シネカノン — 縮小均衡路線で立て直しへ

④ - 視点

「仕分け劇場」から予算編成へ
— 鳩山内閣の試練続く

ジャーナリスト 松崎 茂一郎

⑤ - TOPICS

「企業再生支援機構について」
~その6 機構を活用するメリット~

⑥ - 注目のディスクロージャー

⑥ - 倒産・動向記事

主な債権者判明 **東宝クリーンサービス**

[ビルメンテナンス] (東京)

ハミックス [スポーツ用品卸] (東京)

サンキフーズ [弁当・総菜製造] (茨城)

テレカムなど2社 [情報通信・事務機器販売] (茨城)

安東 [工具卸] (大阪)

藤井組 [鉄筋工事] (兵庫)

今田印刷 [印刷] (広島)

アイデン富陽 [続報、電気設備工事、不動産開発] (東京)

その他の債権者判明企業/その他全国の倒産・動向

⑪ - 記者日誌 <2452>

第一生命サラリーマン川柳コンクールより

⑫ - 三原淳雄のマーケットウオッチ 第82回

機能不全の市場

経済評論家 三原 淳雄

⑬ - COMPANY NOW! 第825回

ミラクル・マネジメント

— 鉄骨溶接特許で省コスト・耐震を提供する不動産コンサル

最新ニュースはここにアクセス

<http://www.tdb-news.com/>

カンパニー ナウ COMPANY 第825回 NOW!

ミラクル・マネジメント

— 鉄骨溶接特許で

省コスト・耐震を提供する不動産コンサル

“地震大国”と呼ばれるほど、日本は地震が多い。1995年の阪神淡路大震災では鉄筋コンクリート造建築の倒壊や重量鉄骨造建築が破壊され問題となったことで、多くの耐震強度を高める建築方法が考えられた。また、2005年に耐震強度偽装が社会問題になったことで“耐震”について社会全体が注目するようになった。

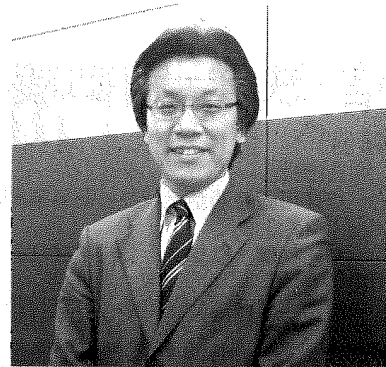
(株)ミラクル・マネジメントは従来工法に比べ鉄骨重量を低減したうえ耐震強度を向上させるなど、多くのメリットをもった2分野の特許技術の提供とそれを用いたコンサルティングを行っている。

1つ目は最も力を入れている鉄骨溶接の「WAWO (ワオ) 構法」。高知大学発ベンチャーの(株)アークリエイトが開発したもので当社は包括代理店である。耐震鉄骨技術特許で従来の溶接方法とは異なり、建物の柱と梁を溶接する際に裏当金やエンドタブを使用せず、接続部分の「のど厚」を大きく確保しつつ溶接量を減らして、耐震強度をアップできる工法である。

溶接量を30～50%低減でき、製作工期も短縮される。それにより製作コストも5～15%削減することが実績により証明されている。そして最も注目すべきは鉄骨材料自体が5～15%重量低減され、従来と明確に差が出る点。また柱と梁の溶接部分(仕口部)の耐震強度が2.5倍にアップするとともに「つば」と呼ばれるでっぱりが無くなるため、壁仕舞いが良い。従来の工事ではつばのある内側と外側の部分の面積は無駄となるが、この工法ではつばの無い分、すべて占有面積となる。設計にもデザインの幅が広がり、オーナーから見れば最大の魅力であろう。

2つ目に提案する増築方法「ミラクル構法」は既存建物の外周に基礎と鉄骨を組み既存部分を残したまま上部に増築ができる技術である。しかし、この方法は既存建物が古い場合、ハード面での法律規制があるので、すべてのニーズ

「省コストと地震に強い不動産をプロデュースしていきます」と語る瀧川社長



を実現できるとはいえないという。

「条件が合致しなければ実現は難しい場合もあります。またこの特許開発元である(株)ミラクルスリーコーポレーションは現在民事再生中ですが、ニーズへの対応に関しては現在のところは問題ありません」と当社の社長瀧川昇三氏。

住んだまま、営業したままでの増築が可能で、仮住まいや仮店舗が不要となる「ミラクル構法」。従来の建て替えでは事業採算が合わない場合や今の建物を壊せない理由がある場合には最適な技術である。

当社はこうした付加価値のある技術を提供するだけではなく案件の市場調査を行い、調査を根拠とした事業収支計画を提案する。そして事業を進めるうえで設計やCMまで提供している。

「お客様からの詳細なご要望に耳を傾けたうえで適切なアドバイス・ソリューション提案を行います。入口から出口までの一貫したコンサルティングを行うことが当社のこだわりですね」と語る瀧川社長。

当社は税理士や金融機関とのつながりも深い。そんな社風も奏効し「WAWO構法」は引き合いが多く、大手との案件成約も近いという。今後、2つの特許を活用した建物が増えていくのが楽しみである。

(取材・文/東京支社情報部 千葉 加奈子)

会社概要

(株)ミラクル・マネジメント

大阪 大阪府中央区森ノ宮中央2-11-21-201、電話06-4790-6670

東京 東京都中野区本町3-30-14-201、電話03-5365-4262

瀧川社長

設立：2007年12月、資本金：3900万円

事業内容：WAWO構法・ミラクル構法を用いた

土地・建物有効活用の事業コンサルタント業

年収入高：約329万円(2009年3月期)

従業員：役員5名

<http://www.miracle-mng.jp/>